

東京駅地下水対策と復元駅舎 見学会



東京の表玄関とも言うべきターミナル駅で、プラットホームの数は日本一多く、在来線が地上5面10線と地下4面8線の合計9面18線、新幹線が地上5面10線、地下鉄は地下1面2線を有しており、面積は東京ドーム約3.6個分に相当します。赤レンガ造りの丸の内口駅舎は辰野金吾らが設計したもので、1914年に竣工、2003年に国の重要文化財に指定されています。「関東の駅百選」認定駅でもあります。

平成19年5月より駅舎を本来の姿に近い形態に復元する工事が開始され、平成24年10月創建当時の姿に復元工事が完成しました。

この東京駅が地下水上昇によるホームの浮上問題にさらされています。今回は、浮上防止対策を見学し、地下構造物が浮き上がってしまうという問題を考えたいと思います。

また、見学後復元された駅を探訪する予定です。この見学会を下記のとおり実施します。多くの皆様のご参加をお待ちしております

日 時	平成25年4月25日(木)	13:15集合
集合場所	東京駅 丸の内北口ドーム(裏面案内図参照)	
募集人数	40名(先着順)	
お申込み	メール及び携帯へ boumatijyuku@yahoo.co.jp	携帯 080-4006-8819
行 程	13:15 東京駅の地下水問題への対策を見学 東京駅探訪	
	16:00 終了予定	

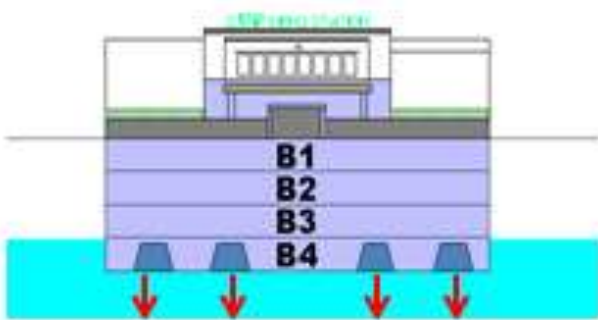
※階段の昇降があるので履きなれた靴でご参加ください。

東京の地下水上昇問題

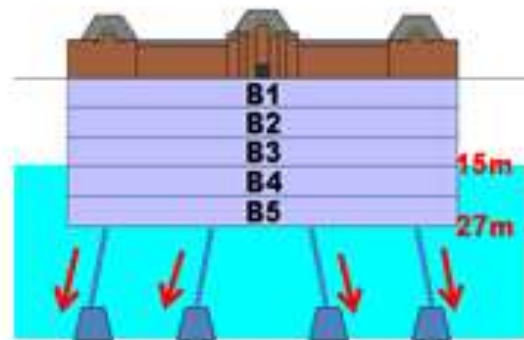
地下水上昇による浮力の発生で上野駅や東京駅が破壊の危機に、また JR 総武線トンネルが水没し漏水でトンネルが崩壊する危機が生じた。地下水やそれに伴う地盤沈下を制御する必要がある。

東京の地下水上昇の問題、 地下構造物が浮力で壊れる！

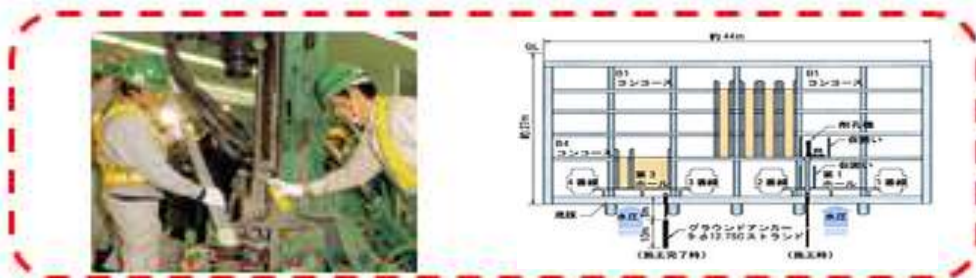
上野駅重り設置



東京駅アンカー打設



東京駅アンカー打設



1

集合場所案内

